

レ ス ス ン プ ラ ン

5 学年 第 5 回 (コミュニケーション)

テーマ：「まわりと違う！」



授業の目標：

- (1)活動を通して、“周囲とは違う”人がどのような気持ちになるかを知る
- (2)違う文化から学ぶことも多いことに気づき、「異なる」「他の」という概念に対する積極的な態度を育てる

用意するもの：

ALT <input type="checkbox"/> 命令カード(青と緑の2セット) <input type="checkbox"/> 母国の文化紹介	担当教師 <input type="checkbox"/> できれば、自由に動けるスペース (体育館や講堂など教室より広いスペース)
--	--

時間	活 動	気づいた点
15分	ALT は、“私も入れて”活動を説明する。7～8人ぐらいのグループに分かれ、お互いぴったりくっついて輪を作るが、一人だけ輪の外に出る。そして、輪の外の一人は、輪の中に入ろうとする。外の人を中に入れてしまった所の二人はじゃんけんをし、負けたら外に出る。何回か繰り返す。 5分位したら活動を止め、 担当教師 は、中にいるときと比べて外にいるときの気持ちはどうだったか、子どもたちに感想を聞く。	
15分	担当教師 は、ひとつめの「命令カード」(多数派：少数派＝7：3)を配る。子どもたちは静かにカードを読む(誰にも見せてはいけない)。 ALT は命令カードに書かれている意味のない言葉を読み、子どもたちは、その言葉に従い、カードに指定されている動作を行う。それぞれの命令を1回行った後、 担当教師 はカードを回収し、数人にどんな気持ちかをしたかを聞いてみる。その後、 担当教師 は2つ目のセットを配る(1回目と違う子どもが少数派カードを受け取るように気をつける)。 ALT は活動を繰り返し、最後に「みんなと違う行動をしている人を取り囲んで指を指し、笑う」というカードを選ぶ。その後、 担当教師 は子どもたちに、感想を聞き、同じようなことが日常生活にないかと尋ねる。 ALT は、「外から来た人」としての日本での経験を話す。	
13分	担当教師 は、「日本人は昔、外国との交流がなかった時期があったので、自分とは違う文化を持つ人たちとつきあうことが、あまり上手ではないと言われていました。でも、今は外国の人と出会って交流し、その人から学ぶチャンスがたくさんあります」と話す。 ALT は母国の文化(踊り・ゲーム等)を簡単に紹介する。	
2分	ALT は、「周囲と違っている人」であるというのはどんな気持ちかをするものを覚えておくように話し、その人から何か新しいことを学ぶことができるということを、忘れずにいたいと授業をまとめる。	